

授業の視点	4技能を総合的に育成する総合的発展的な学習課題を工夫する。また、習熟度の異なる生徒によるグループ構成を工夫し、学び合う喜びのある授業を目指したい。
-------	---

第3学年*組 外国語（英語）科学習指導案

指導者 高野 香保里
AET Elena Sasaki

- 1 単元名 Unit3 Our Sister in Nepal (New Horizon English Course 3 東京書籍)
 <Big Project2>
 Why do Bhutanese feel so happy? Let's research for reasons why they are so happy in Bhutan!

- 2 単元の見直し
 ○聞き手が理解しやすいよう、文章や音声を工夫して発表しようとする。
 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
 ○具体的なデータを用いたり聞き手に分かりやすい文章構成を工夫し、発音やイントネーションに留意して表現することができる。(表現の能力)
 ○友だちの発表内容を理解し、感想を述べたり質問したりすることができる。(理解の能力)
 ○現在完了形や不定詞の形容詞的用法や原因を表す不定詞の文構造を理解している。また、ネパールやブータンの生活の様子を理解している。(言語や文化についての知識・理解)

3 単元について

(1) 教材観

本単元では、"A Foster Program"のポスターをきっかけにして、ネパールの子供たちの生活を読み取ることをねらいとしている。現在完了の経験用法や完了用法、不定詞の形容詞的用法や原因を表す不定詞などを学ぶ。

今回のBig Project2では、Unit3の学習に先駆け、ネパールの隣国ブータンに着目し、国民の90%以上が幸福感を感じている理由を、産業・政治などの分野別に調べて発表する活動を行う。既習の現在完了(継続用法)と併せて経験用法を先行学習し、レポートを書くことで過去形との違いなどを実感し、運用方法を習得することも目的としている。

本時は、グループ別にレポートを発表する。発表テーマは、気候、歴史、ブータン王家、宗教、政治、教育、経済、産業などについてであるが、その他として国民の90%以上が幸福感を感じていることに懐疑的な視点で調べるグループが出てくることも期待している。グループは、実態調査の結果などを参考に、習熟度の異なる生徒4人を基本とした9つのグループを編制し、互いに学び合えるよう配慮する。発表に当たっては、相手に正しく情報が伝わるよう文章構成を工夫させ、Unit2で学習した図やグラフを用いての具体的な説明方法にも習熟させたい。また、事実やデータから考察した内容を発表することも活動の主眼としている。

(2) 生徒の実態(男*名, 女*名, 計*名)

全体的に英語に対する学習意欲は高く、優れた技能をもつ生徒も多い。

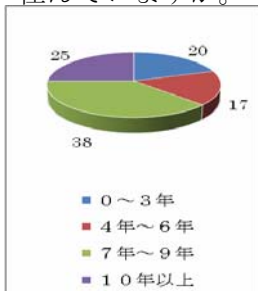
本時の活動で特に定着を目指す現在完了形の継続・経験用法の基本的な文構造や用法などについては、パターンプラクティスの成果でおおむね問題なく理解されている。しかし、明確に現在完了形を使うかどうかの指示のない状態で、過去形や受動態などの他の表現とともに必要に迫られて現在完了形を用いる力が身に付いているか否かが、実際の場面には重要なこととなる。そこで、下記のようなグラフのデータから分かることや自分の考えたことを述べる実態調査を行った。

<実態調査>

- (1) 次のグラフ1~3からわかることを5文程度の英文で書きなさい。
 (2) またそれに対してあなたが考えること・思うことを1~3文程度の英文で書きなさい。

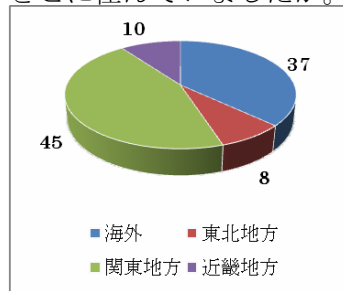
グラフ1

つくばに何年住んでいますか。



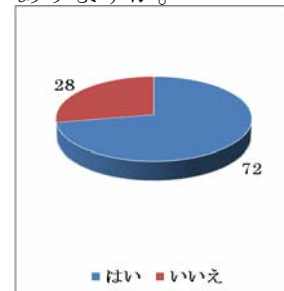
グラフ2

つくばに来る前どこに住んでいましたか。



グラフ3

外国に行ったことがありますか。



(1)の問に関して、**人の生徒は、*72 students have gone to other countries.などの誤った表現などはあるものの、データから分かることをおおむね適切に書くことができた。しかし、現在完了形を使うようにという具体的な指示がないため、どう表現してよいのか分からず困惑する生徒がいた。(2)の問に関しては、I was impressed with graph3 because I have never been to other countries.やI think many students like to go abroad.などの解答例があり、多くの生徒がおおむね適切に述べることができた。問題点としては、考察すること自体を苦手とする生徒がいることが挙げられる。

(3) 研究主題に迫るために

中学校学習指導要領では、4技能を総合的に育成する指導を充実することを基本方針の1つに掲げている。また、「聞くこと」においては、まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること、「話すこと」では、与えられたテーマについて簡単なスピーチをすることなどのように内容が改善されている。また、本校の研究主題『「学び合う喜び」のある授業の在り方～知識・技能を活用する力を生かし、育てる指導法の工夫を通して～』に迫るため、本単元では、4技能を総合的に育成するBig Project2というプログラムを組み、総合的発展的な学習を展開することにした。さらに、習熟度の異なる生徒によるグループ構成を工夫するなどして、学び合う喜びのある授業を目指したいと考えている。

4 指導と評価の計画（5時間取り扱い）

次	欄	学習活動と内容	関	理	表	知	評価	規	準(方法)	時間
一		・具体的なデータを用いたり聞き手に分かりやすい文章構成を工夫してレポートを書く。								3時間
二	④ 本時 5	・ブータンに関するレポートを発表する。発表を聞きながらメモを取り感想を述べたり質問したりする。	○	◎	◎	○			・発音やイントネーションに留意して発表する。友だちの発表内容を理解し、感想を述べたり質問したりする。(観察・ワークシート)	

5 本時の学習

- (1) 目標 ・発音やイントネーションに留意して発表することができる。
 ・友だちの発表内容を理解し、感想を述べたり質問したりすることができる。
- (2) 展開 ※主題に迫るための留意点

学習内容及び活動	支援及び指導上の留意点・評価	
	T1 (JTE)	T2 (AET)
1 学習課題を知り、活動の流れを理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> Why do Bhutanese feel so happy? Let's research for reasons why they are so happy in Bhutan! </div>		
2 発表練習をする。 (1) AETのデモンストレーションを見て発表の参考にする。 (2) 発表の練習をする。	・学習課題や流れを提示して説明し、個々の生徒が課題意識をもって活動に取り組めるようにする。 ※AETのデモンストレーションから、データの表示の仕方や適切な音量など、発表時に気を配る点を生徒に聞き、意識づける。 ※生徒同士互いに改善点などを助言し合うよう促す。	※不明瞭な発音など悪い例とよい例を対比させ、発表のポイントに気付かせる。 ・発音やイントネーションの難しい単語に躓いている生徒に助言する。
3 グループごとに発表し、互いに感想を述べたり質問したりする。 (1) レポートを発表する。 (2) 聞き手は、聞き取り用ワークシートにメモや発表の感想を書く。 (3) 友だちやAETからの質問に答える。	・聞き取り用ワークシートを配付し、聞き取れたことをメモしたり、発表の感想を書いたりするよう説明する。 ・未習の単語や表現と意味を予め提示するよう助言し、理解の助けとする。 ・必要であれば、生徒を指名し質問するよう促す。 ・語彙や文法などについて助言する。 ・ワークシートにある自己評価をするよう話す。	・提示された未習語などの発音を紹介する。 ・発表後、発表に対する感想を述べ、励ます。また、内容についての質問をする。
4 本時の自己評価をする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ㊦発音やイントネーションに留意して発表することができる。 ㊦友だちの発表内容を理解し、感想を述べたり質問したりすることができる。 (観察・ワークシート) </div>	

Why do Bhutanese feel so happy?
What should we do to be happy?
Let's research for reasons why they are so happy in Bhutan!

☆ Choose one topic to research.

Themes are.....

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| No.1 The royal family (王家) | No.2 Religion (宗教) |
| No.3 Politics (政治) | No.4 Economy (経済) |
| No.5 History (歴史) | No.6 Education (教育) |
| No.7 Industry (産業) | |
| Other themes (その他) | |

Our group members are

--

Our theme is

No.

Group No.

Theme:

CLASS NO. NAME

<Structure文章構成>

- 1 何について調べたかを書く。(1行程度)
- 2 データなどの事実について述べる。(1～5行程度)
Unit 2を参考にして, figure (図) やgraph (グラフ) を使ってみよう。
- 3 調べた結果から分かったことや考えたことを述べる。(1～2行)

<New Vocabulary新しい語彙> (例) tradition 伝統

<A Manuscript原稿 >

----- 1

----- 5

----- 10

☆発表から分かったことや質問，発表の仕方や内容についての感想を書きましょう。

Group No.()

分かったことや質問	感想

Group No.()

分かったことや質問	感想

Group No.()

分かったことや質問	感想

Group No.()

分かったことや質問	感想

Group No.()

分かったことや質問	感想

Group No.()

分かったことや質問	感想

Group No.()

分かったことや質問	感想

Group No.()

分かったことや質問	感想

<本時の自己評価>

- 1 発音やイントネーションに気をつけて発表することができましたか。
 1 — 2 — 3
- 2 友だちの発表内容を理解し，感想を述べたり質問したりすることができましたか。
 1 — 2 — 3